

# ならしん景気動向調査レポート

(第20回) 2019年 4月期

奈良信用金庫 総合企画部 奈良県大和郡山市南郡山町529-6

TEL (0743-54-3116) URL <https://www.narashin.co.jp>

1. 調査期間…… 2019年4月
2. 調査時点…… 2019年4月 (前回調査 2019年1月)
3. 調査対象…… 当金庫取引事業先  
※対象先は任意に選定(毎年一部見直し)
4. 調査方法…… 往訪面談・電話等によるヒアリング調査
5. 回答状況

	対象先数	回答先数	回答率
製造業	39	39	100.0%
不動産業	17	17	100.0%
サービス業	14	14	100.0%
卸売・小売業	31	31	100.0%
建設業	14	14	100.0%
運輸業	9	9	100.0%
医療・福祉	11	11	100.0%
全業種合計	135	135	100.0%

当金庫でお取引をいただいている事業先から業種に偏りのないよう135社を任意に選定させていただき、最近の業況・資金繰り等、景気動向に関連するアンケート項目の聞き取りについて、ご協力をお願いいたしました。  
うち、135社よりご回答を賜りました。

# 今回調査結果一覧

2019年4月

全業種

	対象先数	回答先数	回答率	DI 業況	DI 売上金額	DI 収益	DI 資金繰り	DI 前年同期比売上	DI 前年同期比収益	DI 残業時間	DI 人材
製造業	39	39	100.0%	30.8%	25.6%	28.2%	33.3%	28.2%	20.5%	0.0%	-10.3%
不動産業	17	17	100.0%	17.6%	17.6%	5.9%	5.9%	17.6%	0.0%	11.8%	17.6%
サービス業	14	14	100.0%	28.6%	21.4%	35.7%	21.4%	64.3%	71.4%	-28.6%	-14.3%
卸売・小売業	31	31	100.0%	6.5%	-3.2%	-3.2%	22.6%	0.0%	-3.2%	38.7%	9.7%
建設業	14	14	100.0%	21.4%	14.3%	7.1%	42.9%	-14.3%	-14.3%	-14.3%	-14.3%
運輸業	9	9	100.0%	66.7%	66.7%	44.4%	11.1%	33.3%	33.3%	0.0%	-22.2%
医療・福祉	11	11	100.0%	54.5%	45.5%	18.2%	36.4%	18.2%	18.2%	0.0%	18.2%
全業種合計	135	135	100.0%	26.7%	20.7%	17.0%	25.9%	19.3%	14.8%	5.9%	-1.5%

	借入実施		設備投資実施			
	あり	なし	あり	なし		
製造業	26	13	14	24		
不動産業	10	3	1	11		
サービス業	11	3	11	3		
卸売・小売業	15	14	6	23		
建設業	10	4	0	13		
運輸業	3	4	4	3		
医療・福祉	4	6	5	5		
全業種合計	79	47	41	82		

「DI」について

「diffusion index (ディフュージョン・インデックス)」の略で、景気・業況などの動きを示すものです。  
このレポートでは、お客さまからいただいたご回答のうち「良い」「やや良い」の割合から、「やや悪い」「悪い」の割合を引いたものを記載しています。

(例) 業況について ご回答 (5社)

A社	<u>(1) 良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
B社	(1) 良い	<u>(2) やや良い</u>	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
C社	(1) 良い	(2) やや良い	<u>(3) 普通</u>	(4) やや悪い	(5) 悪い
D社	(1) 良い	(2) やや良い	(3) 普通	<u>(4) やや悪い</u>	(5) 悪い
E社	<u>(1) 良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い

$$DI = \left[ \frac{[(\text{良い} \times 2 + \text{やや良い} \times 1) \div 5社]}{[60.0\%]} \right] - \left[ \frac{[(\text{やや悪い} \times 1 + \text{悪い} \times 0) \div 5社]}{[20.0\%]} \right] = 40.0\%$$

全体  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
17.8%	26.7%	8.9%	17.0%	20.7%	3.7%	13.3%	17.0%	3.7%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
15.6%	25.9%	10.3%	19.3%	19.3%	0.0%	7.4%	14.8%	7.4%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-0.7%	5.9%	6.6%	-8.1%	-1.5%	6.6%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
60.3%	62.7%	2.4%	28.1%	33.3%	5.2%			

■概況 ※( )内はDI値

全業種合計の業況判断DIは前回調査時より8.9ポイント上昇し、良化傾向(26.7%)を拡大した。良化幅を下方へと向かわせたのは不動産業、建設業。他業種については、好調な業況を継続しており楽観視は出来ないものの、良好な先行きを示唆している。

売上は製造業、卸売・小売業、建設業で減少した。一方で、運輸業、医療・福祉業では共に前年比35ポイント以上の大幅な上昇、またその他業種が現状維持ではあるが良化傾向となったことから全体としても良化傾向を維持した。

収益面は全業種合計で前年比3.7ポイント上昇し、良化傾向を継続。不動産業で前回より改悪がみられたものの、その他の業種が収益面の良化幅を維持、または上昇させたことにより、同結果となった。

収益面で特に良化幅を上方へと向けた業種はサービス業・運輸業の2業種。その中でも運輸業については、社会的な需要の増加などから前年比22.2ポイントと大幅に上昇し、良化傾向(44.4%)を拡大した。

その一方で、同業者競争の激化や人材確保が問題となっており、これらの課題の解決が今後求められる。

なお、4～6月の収益見通しでは、前年に比べて「良い」と回答した企業が増加し、「悪い」と回答した企業が減少しているため現状に比べるとやや良化していくものと見込まれる。

働き方改革については、「現在取り組んでいる」「今後取組み予定」と回答した企業が全体の81.4%と、企業にとって高い関心を示す結果となった。また、取組内容については「業務効率化」が65社とトップであり、「長時間労働の是正」が37社で次点、「人材育成」が36社でそれに続く結果となった。同様に、期待する効果としては、「生産性向上」が59社でトップ「従業員のモチベーション向上」が46社とそれに続く結果となった。

なお、借入によって資金調達を行ったのは回答者全体の62.6%となり、前年比2.3ポイント上昇した。

全業種合計の前年同期比売上は全体的に前回調査時から横ばいであり、良化傾向(19.3%)を継続。前年同期比の収益については、前年比7.4ポイント増加し、全体的に増加傾向(14.8%)を継続している。

なお、設備投資を行ったのは全体の33.3%であり、前年比5.2ポイント増加した。

経営上の問題点としては「人手不足」「同業者競争の激化」の項目が常態化しており、「人材確保」、「販路拡大」を当面の重点経営施策として挙げる企業が多い。

4-6月の業績・売上額・収益の見通しについては、前回調査時よりすべての項目で「良い」「やや良い」と答えた企業が増加し「やや悪い」「悪い」と答えた企業数は横ばい、もしくは減少傾向にあるため、比較的良好であることが伺える。

■特別調査	働き方改革への取組み状況および、今後3ヶ月(4-6月)の業績見込み
取組状況	「取り組んでいる」59社、「今後取組み予定」51社、「取組む予定はない」25社
働き方改革への取組内容	「長時間労働の是正」37社、「人材育成」36社、「休日取得の促進」20社、「業務効率化」65社、 「IT、システム導入」12社、「その他」1社
働き方改革への取組で期待する効果	「生産性向上」59社、「人材確保」29社、「従業員のモチベーション向上」46社、 「健康経営」12社、「その他」3社
業績(4-6月見込み)	「良い」6社、「やや良い」24社、「普通」92社、「やや悪い」11社、「悪い」1社
売上額(4-6月見込み)	「良い」6社、「やや良い」26社、「普通」89社、「やや悪い」12社、「悪い」1社
収益(4-6月見込み)	「良い」6社、「やや良い」21社、「普通」93社、「やや悪い」13社、「悪い」1社

業種別の概況・経営上の問題点・当面の対策・その他特別に調査した項目については、次ページ以降に内容を記載しております。

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
25.6%	30.8%	5.2%	28.2%	25.6%	-2.6%	28.2%	28.2%	0.0%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
33.3%	33.3%	0.0%	25.6%	28.2%	2.6%	7.7%	20.5%	12.8%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-2.6%	0.0%	2.6%	0.0%	-10.3%	-10.3%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
64.1%	66.7%	2.6%	41.0%	36.8%	-4.2%			

## ■概況 ※( )内はDI値

製造業全体の業況判断DIは前回調査時に比べて5.2ポイント上昇し、良化傾向(30.8%)は維持した。

売上金額は前回比2.6ポイント下降したが良化傾向(25.6%)は維持した。

収益については売上減少等の影響もあったが、前回比横ばいの28.2%ポイントとなり、良化傾向は維持した。

販売価格・資金繰りについても、それぞれ7.7ポイント、33.3ポイントと共に前回比横ばいであり、良化傾向は維持されており、順調さが伺える。

前年同期比売上は前回比より2.6ポイントの微増となり、良化傾向(28.2%)は維持した。また、同収益は前回調査時より12.8ポイント大幅に上昇し、良化傾向(20.5%)は維持しており、好調な結果となった。一方で、人材については、前回比より10.3ポイントの下降(-10.3%)と、悪化傾向を示した。設備投資を行った先は全体の36.8%で、前回より4.2ポイント減少した。

## ■経営上の問題点

「人手不足」が18社でトップ。次点で「同業者競争の激化」が12社と続いた。

## ■当面の対策

依然、対策としては「販路拡大」が最も多く、18社で重点施策とされている。次いで「人材確保」17社「技術力・営業力強化」「経費節減」10社となっている。

■特別調査	働き方改革への取組み状況および、今後3ヶ月(4-6月)の業績見込み
取組状況	「取り組んでいる」19社、「今後取組み予定」16社、「取組む予定はない」4社
働き方改革への取組内容	「長時間労働の是正」12社、「人材育成」10社、「休日取得の促進」4社、「業務効率化」19社、「IT、システム導入」5社、「その他」0社
働き方改革への取組で期待する効果	「生産性向上」25社、「人材確保」8社、「従業員のモチベーション向上」11社、「健康経営」1社、「その他」1社
業績(4-6月見込み)	「良い」2社、「やや良い」9社、「普通」24社、「やや悪い」4社、「悪い」0社
売上額(4-6月見込み)	「良い」2社、「やや良い」9社、「普通」24社、「やや悪い」4社、「悪い」0社
収益(4-6月見込み)	「良い」2社、「やや良い」6社、「普通」25社、「やや悪い」6社、「悪い」0社

売上についてはやや下降したものの、業況については5.2ポイント上昇し、良化傾向を維持しております。原材料価格、原材料在庫DIが前回比より下降しているにも関わらず、収益DIは横ばいのため、今後、収益への影響が大きくなるのが伺えます。なお、今後の業績・売上額・収益の各見込み(4~6月)については「良い」「やや良い」と回答した企業がほぼ横ばいの一方で、「やや悪い」の回答が増加していることから、厳しい業況となる可能性があります。

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
23.5%	17.6%	-5.9%	17.6%	17.6%	0.0%	17.6%	5.9%	-11.7%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-5.9%	5.9%	11.8%	17.6%	17.6%	0.0%	5.9%	0.0%	-5.9%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-5.9%	11.8%	17.7%	-5.9%	17.6%	23.5%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
38.5%	76.9%	38.4%	0.0%	8.3%	8.3%			

## ■概況 ※( )内はDI値

不動産業全体の業況判断DIは前回は5.9ポイント下降したものの、良化傾向(17.6%)を継続した。売上額については、前回と横ばい(17.6%)、収益については5.9ポイントと良化傾向を示しているが、前回より、11.7ポイントの下降となった。

販売価格、仕入れ価格はそれぞれ、前回は11.8ポイント、17.6ポイント下落し悪化傾向となった。

また、資金繰りについては前回は11.8ポイント上昇し、良化傾向(5.9%)に転じた。

なお、借入によって資金調達を行った先は全体の76.9%であり、前回は38.4ポイント増加した。

売上における前年同期比では、前回は横ばいであり良化傾向(17.6%)を維持した。

一方で、同収益については、前回は5.9ポイント下降し中立となった。

残業時間は前回調査時より17.7ポイント改善し、良化傾向(11.8%)に転じた。

人材についても前回調査時より、23.5ポイント改善し良化傾向(17.6%)に転じた。

設備投資は前回調査時より8.3ポイント上昇したが、実施した企業は1社のみであった。

## ■経営上の問題点

経営課題としては、前回と同様「同業者競争の激化」が11社でトップ。次いで「人件費の増加」が4社と続いた。

## ■当面の対策

当面の対策は「情報力の強化」「販路拡大」が8社となりトップとなった。続いて「経費節減」が7社、「人材確保」が6社と続いた。

■特別調査	働き方改革への取組み状況および、今後3ヶ月(4-6月)の業績見込み
取組状況	「取り組んでいる」5社、「今後取組み予定」4社、「取組む予定はない」8社
働き方改革への取組内容	「長時間労働の是正」1社、「人材育成」3社、「休日取得の促進」2社、「業務効率化」9社、「IT、システム導入」0社、「その他」0社
働き方改革への取組で期待する効果	「生産性向上」2社、「人材確保」2社、「従業員のモチベーション向上」8社、「健康経営」3社、「その他」0社
業績(4-6月見込み)	「良い」0社、「やや良い」5社、「普通」11社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
売上額(4-6月見込み)	「良い」0社、「やや良い」6社、「普通」9社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
収益(4-6月見込み)	「良い」0社、「やや良い」6社、「普通」9社、「やや悪い」2社、「悪い」0社

業況、売上DIともに良化傾向は維持しているが、前回調査時より業況は9.7ポイント下降し良化幅を縮小した。売上については横ばい、収益については11.7ポイントの下降となったが、引き続き良化傾向は継続している。業績・売上額・収益の見込みは大半が「普通」となり、前回に比べて「やや良い」と回答した企業が増加している。また残業時間、人材の項目でも良化傾向がみられることから、現状を維持していくものの、良化傾向が拡大していく可能性も示唆しております。

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
0.0%	28.6%	28.6%	7.1%	21.4%	14.3%	14.3%	35.7%	21.4%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
7.1%	21.4%	14.3%	28.6%	64.3%	35.7%	7.1%	71.4%	64.3%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-28.6%	-28.6%	0.0%	-50.0%	-14.3%	35.7%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
78.6%	78.6%	0.0%	57.1%	78.6%	21.5%			

## ■概況 ※( )内はDI値

医療・福祉を除くサービス業の業況判断DIは前回調査から28.6ポイント上昇し、良化傾向(28.6%)に転じた。売上金額についても、前回比より14.3ポイント上昇し、良化傾向(21.4%)を継続した。また、料金価格は前回調査時と比べて21.4ポイント大幅に上昇し、良化傾向(7.1%)に転じた。

一方で、材料価格は前回比より7.2ポイント上昇したものの、引続き悪化傾向(-21.4%)となっている。

借入によって資金調達を行った先は、全体の78.6%と前回調査と同様であった。

前年同期比売上は前回比35.7ポイント大幅に上昇し、良化傾向(64.3%)を示した。

同収益については前回比64.3ポイントと大幅に上昇しており、良化傾向(71.4%)を拡大している。

人材についても35.7ポイント上昇し、不足傾向(-14.3%)ではあるものの、前回から業況は改善している。

その一方で、残業時間は前回比横ばい(-28.6%)であり、悪化傾向は継続している。

設備投資を行った先は全体の78.6%で、前回調査より21.5ポイント増加した。

## ■経営上の問題点

前回調査に引続き「人手不足」が9社でトップ。続いて「同業者競争の激化」が8社、「人件費の増加」が6社、「利益幅の縮小」が4社と続いた。

## ■当面の対策

依然として「人材確保」が10社で当面の対策として取組まれている。次点で「技術力・営業力強化」が7社、「社員教育」「経費削減」が6社と続き、人材・サービスの強化に意識が向いていることが伺える。

■特別調査	働き方改革への取組み状況および、今後3ヶ月(4-6月)の業績見込み
取組状況	「取り組んでいる」7社、「今後取組み予定」5社、「取組む予定はない」2社
働き方改革への取組内容	「長時間労働の是正」3社、「人材育成」5社、「休日取得の促進」4社、「業務効率化」9社、「IT、システム導入」2社、「その他」0社
働き方改革への取組で期待する効果	「生産性向上」5社、「人材確保」5社、「従業員のモチベーション向上」6社、「健康経営」2社、「その他」0社
業績(4-6月見込み)	「良い」1社、「やや良い」2社、「普通」9社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
売上額(4-6月見込み)	「良い」1社、「やや良い」2社、「普通」9社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
収益(4-6月見込み)	「良い」1社、「やや良い」2社、「普通」10社、「やや悪い」1社、「悪い」0社

業況は変化幅を上方へと向かわせ、良化傾向となりました。一方で、料金価格や材料価格の高騰、人手不足の常態化による人件費上昇などが依然重荷となっていることが伺えます。

今後3か月の業績、売上、収益見込みは「普通」と回答した企業が大半を占めるものの、「良い」「やや良い」と回答した企業数が前回調査時より増加しており、好況が続く可能性が高まっております。

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
0.0%	6.5%	6.5%	6.5%	-3.2%	-9.7%	-3.2%	-3.2%	0.0%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
0.0%	22.6%	22.6%	6.5%	0.0%	-6.5%	-3.2%	-3.2%	0.0%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
22.6%	38.7%	16.1%	3.2%	9.7%	6.5%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
56.0%	51.7%	-4.3%	24.0%	20.7%	-3.3%			

## ■概況 ※( )内はDI値

卸売・小売業全体の業況判断DIは前回比6.5ポイント上昇し、良化傾向(6.5%)に転じた。その一方で、売上に関しては9.7ポイント下降し悪化傾向(-3.2%)に転じ、収益も-3.2ポイントで横ばいとなった。販売価格については3.2ポイント改善し、良化傾向(3.2%)となった。仕入れ価格については、前回比横ばいであり、引き続き悪化傾向(-16.1%)となった。在庫は前回比12.9ポイント改善したが、悪化傾向(-3.2%)が継続した。

なお、借入によって資金調達を行った先は全体の51.7%となり、前回比4.3ポイント減少した。

前年同期比売上は前回比6.5ポイント下降し、中立に転じた。同収益については前回比横ばいであり、悪化傾向(-3.2%)を継続した。残業時間は前回比16.1ポイント上昇し、改善傾向(38.7%)を拡張した。人材は前回比6.5ポイント上昇し、良化傾向(9.7%)となった。設備投資割合は20.7%となり、前回比3.3ポイントの減少となっている。

## ■経営上の問題点

依然として「同業者競争の激化」が15社でトップ。次点で「売上停滞・減少」が12社と続いた

## ■当面の対策

依然として「販路拡大」が18社でトップ。次点は「経費節減」「商品性の拡大」が12社と続いた。

■特別調査	働き方改革への取組み状況および、今後3ヶ月(4-6月)の業績見込み
取組状況	「取り組んでいる」15社、「今後取組み予定」10社、「取組む予定はない」6社
働き方改革への取組内容	「長時間労働の是正」10社、「人材育成」7社、「休日取得の促進」7社、「業務効率化」14社、「IT、システム導入」0社、「その他」1社
働き方改革への取組で期待する効果	「生産性向上」17社、「人材確保」5社、「従業員のモチベーション向上」8社、「健康経営」1社、「その他」1社
業績(4-6月見込み)	「良い」0社、「やや良い」6社、「普通」21社、「やや悪い」3社、「悪い」1社
売上額(4-6月見込み)	「良い」0社、「やや良い」5社、「普通」22社、「やや悪い」3社、「悪い」1社
収益(4-6月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」24社、「やや悪い」3社、「悪い」1社

卸売・小売業については、業況・収益DIそれぞれが上昇し、回復傾向を示しています。一方で、売上DIは悪化傾向に転じました。背景としては、同業者競争の激化による売上停滞・減少があり、販路や商品性の拡大、経費節減にも注力する姿勢が伺えます。業績・売上・収益見込みについては、大半の企業が「普通」と回答しておりますが、「やや良い」以上の回答が前回より減少しており、先行きの不透明感が高まる結果となりました。

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
35.7%	21.4%	-14.3%	21.4%	14.3%	-7.1%	0.0%	7.1%	7.1%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
21.4%	42.9%	21.5%	7.1%	-14.3%	-21.4%	0.0%	-14.3%	-14.3%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-7.1%	-14.3%	-7.2%	-14.3%	-14.3%	0.0%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
69.2%	71.4%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%			

## ■概況 ※( )内はDI値

建設業全体の業況判断DIは前回は14.3ポイント下落したものの、良化傾向(21.4%)を継続している。売上金額に関しても前回は7.1ポイント下降したものの、良化傾向(14.3%)継続となった。受注残高についても、前回調査時より35.7ポイント下落したが、良化傾向(21.4%)を維持した。

資金繰りについては前回調査時21.5ポイント上昇し良化傾向(42.9%)を継続。収益については前回調査時から微増し、良化傾向(7.1%)となった。

借入によって資金調達を行った先は71.4%で前回は2.2ポイント上昇し、引き続き高い借入実施となった。

前年同期比売上は前回は21.4ポイント下落となり悪化傾向(-14.3%)に転じた。同収益についても前回は14.3ポイント下降し、悪化に転じた。

残業時間は前回は7.2ポイント改悪となり、悪化傾向(-14.3%)となった。

人材不足については前回調査時から横ばいであるが、不足傾向(-14.3%)となった。

なお、設備投資を行った先は0%となっており、前回は横ばいであった。

## ■経営上の問題点

依然として「同業者競争の激化」が8社と最も多く、次いで「利益幅の縮小」が6社と続いた。同業者競争の激化や経費の増加などが経営に影響を与えているものと考えられる。

## ■当面の対策

「販路拡大」が11社でトップ。次点で、「技術力・営業力強化」が7社と続いた。同業者競争の激化を受け、企業として勝ち残るため、営業力強化や人材確保に注力することが伺える結果となった。

■特別調査	働き方改革への取組み状況および、今後3ヶ月(4-6月)の業績見込み
取組状況	「取り組んでいる」2社、「今後取組み予定」8社、「取組む予定はない」4社
働き方改革への取組内容	「長時間労働の是正」4社、「人材育成」4社、「休日取得の促進」0社、「業務効率化」6社、「IT、システム導入」1社、「その他」0社
働き方改革への取組で期待する効果	「生産性向上」3社、「人材確保」2社、「従業員のモチベーション向上」4社、「健康経営」3社、「その他」0社
業績(4-6月見込み)	「良い」1社、「やや良い」0社、「普通」12社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
売上額(4-6月見込み)	「良い」1社、「やや良い」1社、「普通」11社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
収益(4-6月見込み)	「良い」1社、「やや良い」1社、「普通」11社、「やや悪い」1社、「悪い」0社

業況、売上DIは前回調査時より良化幅を下方に向かわせましたが、収益DIに関しては、前回は引続き、良化傾向を示しました。しかし受注残高、施工高が大幅に上減少していることから、今後収益、売上にも影響を与えるものと思われます。

当面の重点経営施策として、引き続き「販路拡大」や他社との差別化を図るために、「技術力・営業力強化」に取り組む姿勢が伺えます。



業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
33.3%	66.7%	33.4%	22.2%	66.7%	44.5%	22.2%	44.4%	22.2%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
33.3%	11.1%	-22.2%	44.4%	33.3%	-11.1%	55.6%	33.3%	-22.3%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
0.0%	0.0%	0.0%	-11.1%	-22.2%	-11.1%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
50.0%	42.9%	-7.1%	33.3%	57.1%	23.8%			

## ■概況 ※( )内はDI値

運輸業全体の業況判断DIは前回は33.4ポイント大幅上昇し、良化傾向(66.7%)を拡大した。

売上金額も前回は44.5ポイント大幅上昇し、良化傾向(66.7%)を示している。

収益面については前回は22.2ポイント上昇し、良化傾向(44.4%)を維持している。

コストパフォーマンス、料金価格は共に前回の中立状態から22.2ポイント上昇し、良化傾向(22.2%)に転じた。

一方で、資金繰りについては良化傾向(11.1%)を示すものの、前回は22.2ポイントの下落となった。

なお、借入によって資金調達を行った先は全体の42.9%であり、微減(-7.1%)となった。

前年同期比売上は前回は11.1ポイント下落したが、増加傾向(33.3%)を継続。

同収益も同様に、前回は22.3ポイント下落したが、依然、増加傾向(33.3%)にある。

残業時間については、前回は横ばいであり、中立であった。

また、人材不足は前回は11.1ポイント下落し、悪化傾向(-22.2%)継続となった。

なお、設備投資を行った先は57.1%となり23.8ポイントの増加となった。

## ■経営上の問題点

「同業者競争の激化」が6社でトップ。次点で「人手不足」5社、「料金価格」4社と続いた。業況DIの良化の一方で、価格競争の激化と人手不足の大きく2つが問題となっている。

## ■当面の対策

「人材確保」が6社でトップ。次点で「社員教育」が3社と続いた。前回調査に引き続き、人材に対する経営意識の高まりが伺える。

■特別調査	働き方改革への取組み状況および、今後3ヶ月(4-6月)の業績見込み
取組状況	「取り組んでいる」4社、「今後取組み予定」4社、「取組む予定はない」1社
働き方改革への取組内容	「長時間労働の是正」5社、「人材育成」1社、「休日取得の促進」0社、「業務効率化」2社、 「IT、システム導入」1社、「その他」0社
働き方改革への取組で期待する効果	「生産性向上」2社、「人材確保」3社、「従業員のモチベーション向上」3社、 「健康経営」1社、「その他」1社
業績(4-6月見込み)	「良い」1社、「やや良い」0社、「普通」8社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
売上額(4-6月見込み)	「良い」1社、「やや良い」1社、「普通」7社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
収益(4-6月見込み)	「良い」1社、「やや良い」1社、「普通」7社、「やや悪い」0社、「悪い」0社

業況、売上共に大幅に改善しており、良化傾向が拡大しています。収益についても良化傾向を継続しています。一方で、人材DIは下落しており、人手不足による人材確保が問題となっている実態が伺えます。4-6月の業績、売上、収益については全ての企業で「普通」以上の回答となっており、引続き好調な業況が続くと予想されます。

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
18.2%	54.5%	36.3%	9.1%	45.5%	36.4%	9.1%	18.2%	9.1%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
18.2%	36.4%	18.2%	18.2%	18.2%	0.0%	9.1%	18.2%	9.1%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-9.1%	0.0%	9.1%	-9.1%	18.2%	27.3%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
55.6%	40.0%	-15.6%	11.1%	50.0%	38.9%			

## ■概況 ※( )内はDI値

医療・福祉分野の業況判断DIは前回より36.3ポイントと大幅に良化傾向(54.5%)を拡大した。

売上金額についても、前回より36.4ポイント、良化傾向(45.5%)を拡大した。

ペット稼働率については前回調査時よりも18.1ポイント上昇し良化傾向(63.6%)を拡大した。

通院者数については45.5ポイント上昇し、良化傾向(45.5%)に転じた。

収益についても前回は9.1ポイント上昇し、良化傾向(18.2%)を維持した。

また、資金繰りについては前回は18.2ポイント上昇し、良化傾向(36.4%)を維持した。

なお、借入によって資金調達を行った先は全体の40.0%であり、前回は15.6ポイント減少している。

また、前年同期比売上は前回比横ばいとなり、良化傾向(18.2%)を維持した。

同収益についても、前回は9.1ポイント増加し、良化傾向(18.2%)を維持した。

残業時間は前回比9.1ポイント上昇し、中立に転じた。

人材面では、前回比27.3ポイント上昇し、良化傾向(18.2%)に転じた。

なお、全体の50.0%の先で設備投資を行っており、前回は38.9ポイント増加した。

## ■経営上の問題点

「人手不足」「人件費の増加」が最も多く6社であった。慢性的な人手不足が課題としてある一方で、人件費の増加についても、企業の大きな課題となっている。

## ■当面の対策

「人材確保」が依然として最も多く8社でトップ。次点で「技術力・営業力強化」「資金繰り安定」が3社と続いた。優秀な人材確保に注力することに加えて、独自の技術や営業により他社との差別化を図り、また運営を安定させる施策が重要となってきている。

■特別調査	働き方改革への取組み状況および、今後3ヶ月(4-6月)の業績見込み
取組状況	「取り組んでいる」7社、「今後取組み予定」4社、「取組む予定はない」0社
働き方改革への取組内容	「長時間労働の是正」2社、「人材育成」6社、「休日取得の促進」3社、「業務効率化」6社、 「IT、システム導入」3社、「その他」0社
働き方改革への取組で期待する効果	「生産性向上」5社、「人材確保」4社、「従業員のモチベーション向上」6社、 「健康経営」1社、「その他」0社
業績(4-6月見込み)	「良い」1社、「やや良い」2社、「普通」7社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
売上額(4-6月見込み)	「良い」1社、「やや良い」2社、「普通」7社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
収益(4-6月見込み)	「良い」1社、「やや良い」2社、「普通」7社、「やや悪い」0社、「悪い」0社

業況、売上については、良化傾向を拡大し、依然として好調な業況を維持しております。ベッド稼働率の増加が好調な業況維持に繋がったものと思われまます。一方で、収益DIについては前回は上昇、通院者数が増えていることが影響したものと思われまます。当面の施策として、人材確保が重要視されており、人手不足に加え、人件費の増加が経営上の問題と認識されているため、人材の即戦力化が重要であると認識されていることが推測されます。4-6月の業績・売上額・収益の各見込みでは今回調査した全ての企業で「普通」以上の回答となっており、依然として業況は堅調に推移していくと見込まれます。